

### 5-3 東海地方の微小地震の分布 (1992年11月1日～1993年4月30日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District  
(Nov. 1, 1992 - Apr. 30, 1993)

名古屋大学理学部

School of Science, Nagoya University

前報<sup>1)</sup>に引き続いて1992年11月1日より1993年4月30日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

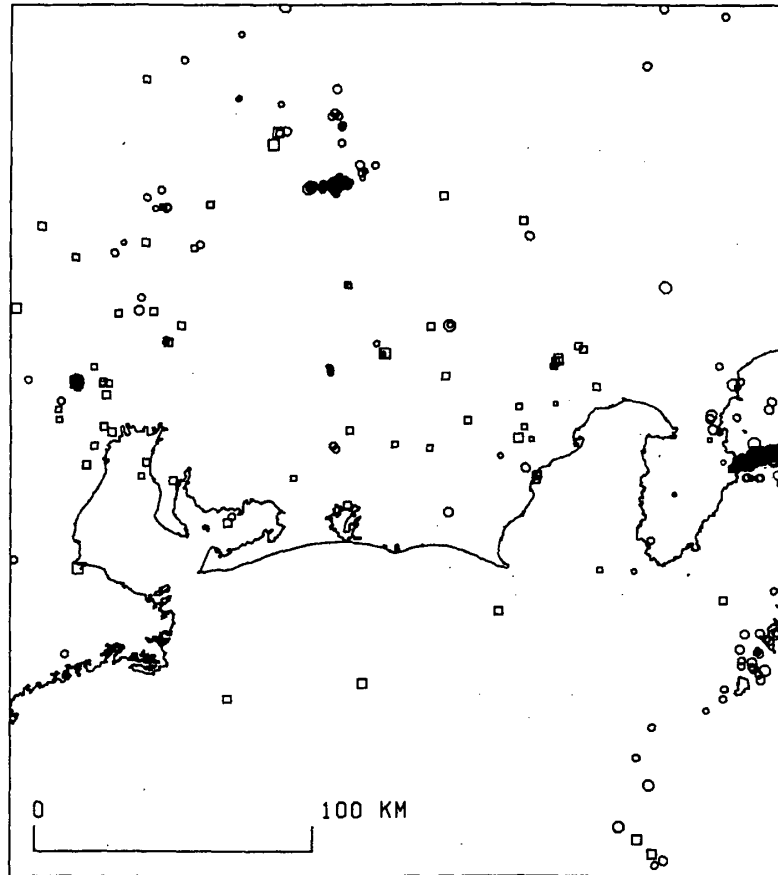
第1図は1993年4月30日までの6ヶ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している震央を3ヶ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) この期間での愛知・岐阜・三重県等西部地域での地震活動は、M3以上の地震が愛知県内で9回、三重県内で4回、岐阜県内で3回発生し活動的であった。特に12月18日に三重県北部の養老断層と一志断層系の間でM3.7の地震上部地殻内地震が発生し、多くの余震活動が見られたほか、1月11日には岐阜・愛知両県の県境付近でM4.9のフィリピン海プレート内地震が発生し、多くの余震が観測された。
- (2) 長野県南部・静岡県・山梨県の地域では、M3以上の地震は10回で平常通りの活動であった。
- (3) 長野県西部地域では11月17日M3.0, 12月14日M3.2, 1月22日M3.1, 2月5日にM3.3の地震があったものの平常通りの活動であったが、2月末ころより微小地震が活動的となり、4月23日にM5.1の地震と多くの余震が観測された。なおこの地震活動時に長野県中部で3月18日にM3.5, 4月18日にM3.2の地震が発生したほか、岐阜県中部においても微小地震活動がみられた。

#### 参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1992年5月1日～1992年10月31日), 連絡会報, 49, (1993), 326-328.

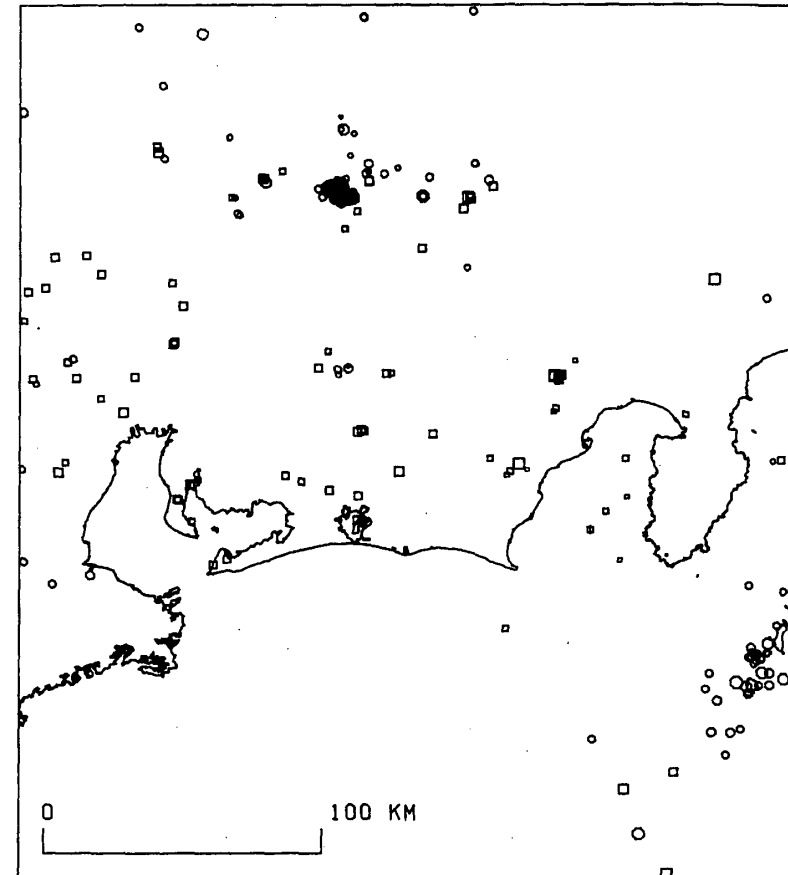


N = 470

DEPTH 0 10 20 KM  
○ □

MAG. 1 2 3 4  
• ○ ○ ○

1992 11 1 - 1993 1 31



N = 483

DEPTH 0 10 20 KM  
○ □

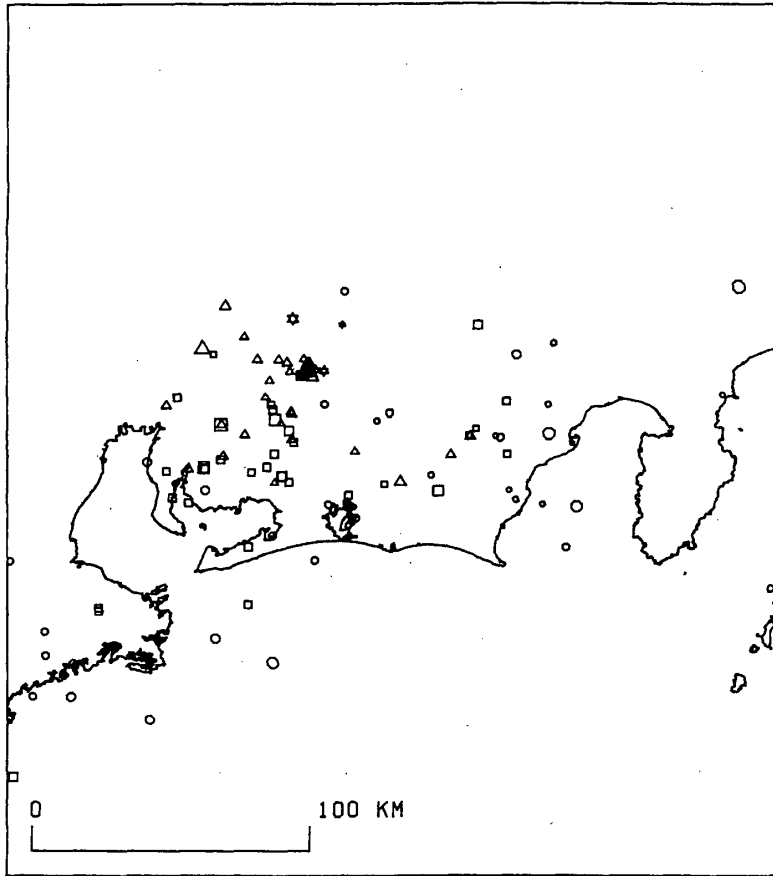
MAG. 1 2 3 4  
• ○ ○ ○

1993 2 1 - 1993 4 30

( NAGOYA UNIV )

第1図 微小地震の分布 (1992年11月1日~1993年4月30日) 震源の深さが20km未満のもの

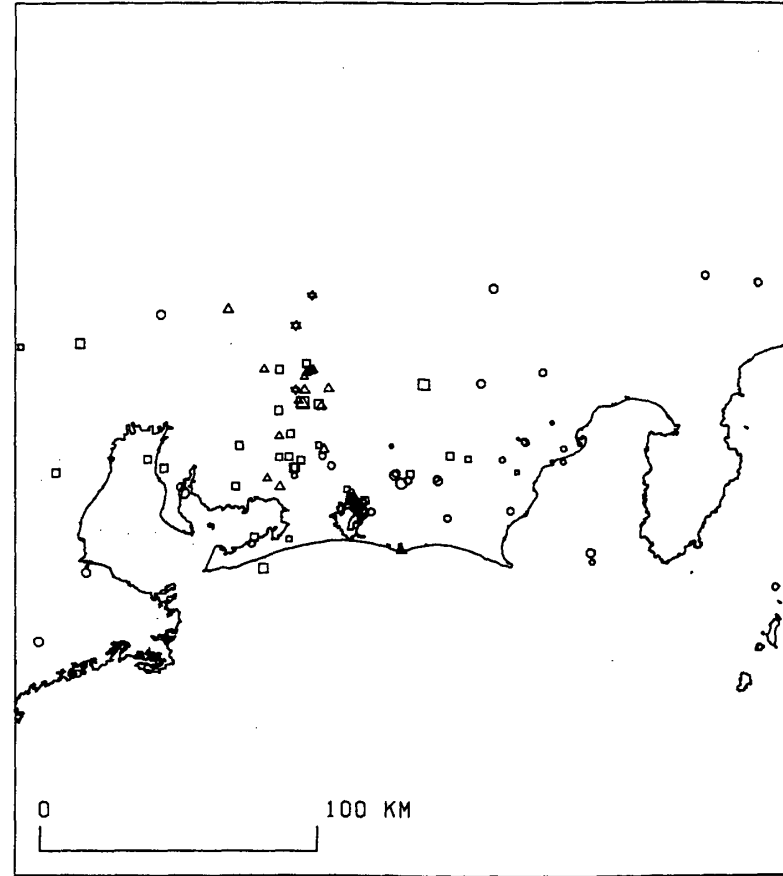
Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1,1992-Apr. 30,1993) shallower than 20km.



N = 127

DEPTH 20 30 40 50 80 KM      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □ △ ☆                      · ○ ○ ○

1992 11 1 - 1993 1 31



N = 107

DEPTH 20 30 40 50 80 KM      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □ △ ☆                      · ○ ○ ○

1993 2 1 - 1993 4 30

( NAGOYA UNIV )

第2図 微小地震の分布 (1992年11月1日~1993年4月30日) 震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1,1992-Apr. 30,1993) deeper than and equal to 20km.